

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び 部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健医療部保健政策課
改革遂行責任者	保健医療部長・保健政策課長 総務部長・財政課長	

改革方針	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【1 付属病院の基本的方向の検討】 ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る。	第二期医療大改革プラン(H29～R8)の推進				
【2 アクションプランの推進】 ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、収入を確保し、経費節減に努め、収支の改善を図り繰入金を縮減していく。	繰入金の縮減				
【教育機能の充実】 教育研修体制の充実によりリハビリテーション専門医を養成するため専攻医(旧後期研修医)の受入れを拡大し、あわせて患者数の確保による経営改善を推進する。	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・教育研修体制の充実 専攻医の受入れ拡大 (目標)3人 [4人]		(目標)4人 [4人]		医療大学第2期アクションプラン(後期)(R5～R8)のKPIの実現を目指す。 (目標)専攻医の受入れ促進・リハ専門医養成 (目標)5人
【政策的なリハビリテーション医療の推進】 365日リハビリテーションの維持向上により、リハビリテーション医療の充実を図る。	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上 目標:回復期病棟(3A)における患者1人あたり実施単位数7単位 障害者等病棟(2A)における患者1人あたり実施単位数4.9単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)		[回復期病棟(3A) 6.90単位] [回復期病棟(3A) 7.17単位] [回復期病棟(3A) 6.96単位] [障害者等病棟(2A) 5.03単位] [障害者等病棟(2A) 5.14単位] [障害者等病棟(2A) 4.78単位]		医療大学第2期アクションプラン(後期)(R5～R8)のKPIの実現を目指す。 (目標) 回復期病棟(3A)における患者1人あたり実施単位数7単位 障害者等病棟(2A)における患者1人あたり実施単位数5単位 障害児病棟(3B)における患者1人あたり実施単位数3.5単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)
【経営改善の推進】 地域医療連携の充実強化を図り、急性期病院及び地域の医療機関等からの患者の確保に努める。	(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・病床稼働率の向上 [80.3%]		目標:病床稼働率(全体)85.5%(120床換算) [75.7%]		医療大学第2期アクションプラン(後期)(R5～R8)のKPIの実現を目指す。 [75.0%]
急性期病院との医療連携の推進、急性期病院への空床情報の提供、急性期病院及び地域の医療機関との意見交換					

※ ⇔ は改革期間及び推進事項を表示

※ ⇨ は改革期間及び推進事項の修正

※ []は目標達成状況、【 】修正後の目標を表示